

## 施 設 概 要

## 1. 処 理 能 力

日平均処理量      80m<sup>3</sup>/日      調整槽容量      約 8,000m<sup>3</sup>

## 2. 処 理 方 式

浸出水

流入調整設備＋前凝集沈殿設備＋生物処理設備(2系列)＋後凝集沈殿設備＋高度処理設備(ろ過＋微量有害物質分解＋活性炭吸着＋キレート吸着＋ほう素吸着除去)  
＋消毒放流

汚泥

濃縮＋貯留＋脱水＋埋立

## 3. 計 画 流 入 水 質

p H	6 ~ 10
B O D	200mg/L
C O D	100mg/L
S S	300mg/L
T - N	100mg/L
D X N	10pg-TEQ/L

## 4. 処 理 時 間

水処理施設関係	24時間/日	7日/週
汚泥処理施設関係	6時間/日	5日/週

## 5. 処 理 水 質

p H	6.5 ~ 8.5
B O D	10mg/L 以下 (7.5mg/L 以下)
C O D	10mg/L 以下
S S	10mg/L 以下
T - N	12mg/L 以下

D X N 1.0pg-TEQ/L 以下 (0.1pg-TEQ/L 以下)

※ ただし、D X NとB O Dの ( ) 内の値は管理目標値とする。

なお、ここでいう管理目標値とは、通常運転、計画流入水質の条件下で施設の良好な運転管理の目標とする値であり、これを超過する場合には速やかに原因追及および応急対策を実施するものとする。この実施方法については甲、乙および施設施工業者の協議により決定するものとする。

その他項目 (重金属類) 計画放流水質以下

規制項目	単位	(参考値) 基準省令	計画放流水質	摘要
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.1 以下	検出されないこと	
シアン化合物	mg/L	1 以下	検出されないこと	
有機りん化合物	mg/L	1 以下	検出されないこと	
鉛及びその化合物	mg/L	0.1 以下	0.01 以下	
六価クロム化合物	mg/L	0.5 以下	0.05 以下	
ひ素及びその化合物	mg/L	0.1 以下	0.01 以下	
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/L	0.005 以下	0.0005 以下	
アルキル水銀化合物	mg/L	検出されないこと	検出されないこと	
PCB	mg/L	0.003 以下	検出されないこと	
トリクロロエチレン	mg/L	0.3 以下	0.03 以下	
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1 以下	0.01 以下	
ジクロロメタン	mg/L	0.2 以下	0.02 以下	
四塩化炭素	mg/L	0.02 以下	0.002 以下	
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04 以下	0.004 以下	
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.2 以下	0.02 以下	
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4 以下	0.04 以下	
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3 以下	0.3 以下	
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06 以下	0.006 以下	
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02 以下	0.002 以下	
チウラム	mg/L	0.06 以下	0.006 以下	

シマジン	mg/L	0.03 以下	0.003 以下	
チオベンカルブ	mg/L	0.2 以下	0.02 以下	
ベンゼン	mg/L	0.1 以下	0.01 以下	
セレン及びその化合物	mg/L	0.1 以下	0.01 以下	
ふっ素及びその化合物	mg/L	8 以下	1 以下	
ほう素及びその化合物	mg/L	10 以下	1 以下	
アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	100 以下	10 以下	
1,4-ジオキサン	mg/L	0.5 以下	0.05 以下	
pH	—	5.8 ~ 8.6	6.5 ~ 8.5	
BOD	mg/L	60 以下	10 以下 7.5 以下※	湖沼以外
SS	mg/L	60 以下	10 以下	
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類)	mg/L	5 以下	0.5 以下	
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油類)	mg/L	30 以下	3 以下	
フェノール類含有量	mg/L	5 以下	0.5 以下	
銅含有量	mg/L	3 以下	0.3 以下	
亜鉛含有量	mg/L	5 以下	0.5 以下	
溶解性鉄含有量	mg/L	10 以下	1 以下	
溶解性マンガン含有量	mg/L	10 以下	1 以下	
クロム含有量	mg/L	2 以下	0.2 以下	
大腸菌群数	個/cm <sup>3</sup>	3,000 以下	300 以下	日平均
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	10 以下	1 以下 0.1 以下※	

## 6. 脱水汚泥等の性状

脱水汚泥含水率                      85 %以下

## 7. 騒音目標値

敷地境界線において下記の目標値以下とする。

昼 間	50 dB 以下
朝 夕	45 dB 以下
夜 間	40 dB 以下

## 8. 振動目標値

敷地境界線において下記の目標値以下とする。

昼 間	60 dB 以下
夜 間	55 dB 以下

## 9. 悪臭目標値

敷地境界線において下記の目標値以下とする。

臭気指数	1.3 以下とする。
------	------------

## 10. 立地条件

### 1) 都市計画事項

(1) 用途地域	無指定区域
(2) 防火地域	指定なし

### 2) 搬入道路

別紙図面参照

### 3) 敷地周辺設備

(1) 原水受入	埋立地浸出水集排水施設からの導水管により原水ピット位置において原水を受け入れる。
(2) 電 気	環境整備センター敷地門扉近傍に第1柱設置。第1柱より施設までは進入道路下を埋設配線。
(3) 用 水	北杜市上水道の水道水を利用。(量水器は管理エリアと区分して設置済み)
(4) ガ ス	なし
(5) 排 水	浸出水処理水は放流水管を經由し管理棟脇の転流水路に放流する。

また、管理棟雑排水は浄化槽を經由し、施設調整槽に流入する。

(6) 電 話 甲が通常使用 (TEL, FAX) する N T T 回線 (ひかり) を 1 回線設置済。監視室に当該回線の電話機 1 機設置済。機械室等においては当該回線の内線専用電話機を各所設置済。甲との共用可。

甲が通常使用 (インターネット) する N T T 回線 (ひかり) を 1 回線設置済。施設の非常通報発報用の回線と共用。

(7) 洗車場排水 管理棟脇の洗車場からの排水を調整槽に受け入れる。  
※ただし、現在は使用していない。

## 11. 設備の概要

(運転方法、処理フローおよび各設備の機器仕様は別紙 - 4 に示すとおり)

(1) 流入調整設備

(2) 前凝集沈殿設備

(3) 生物処理設備

① B O D 酸化槽 (接触ばっ気法)

② 硝酸化槽 (接触ばっ気法)

③ 脱窒素槽 (接触法)

④ 再ばっ気槽 (接触ばっ気法)

(4) 後凝集沈殿設備

(5) 高度処理設備

(6) 消毒放流設備

(7) 汚泥処理設備

(8) 薬注設備

(9) 給排水設備

(10) その他設備

(11) 埋立地遮水工漏水検知設備 (電氣的漏水検知システム)

## 運転管理要領

施設内各設備の運転管理は以下のとおりとし、詳細については別途規定する施設管理規定、運転要領書、取扱説明書、完成図書等による。

### 1. 流入調整設備

各機器の運転は水質及び水量の変動に伴う運転効率への影響等を勘案し、必要に応じて各機器の休止または運転を適時判断し、最良な運転を行う。

予備機のある機器類については運転計画に基づき一定期間ごとに交互切り替えを行う。

使用時のみ起動する機器類については設備状況に合わせて適時運転を行う。

原水ピット等に沈殿する沈砂等については適時搬出の上適切に処分すること。

### 2. 前凝集沈殿設備

各機器の運転は水質及び水量の変動に伴う運転効率への影響等を勘案し、必要に応じて各機器の休止または運転を適時判断し、最良な運転を行う。

予備機のある機器類については運転計画に基づき一定期間ごとに交互切り替えを行う。

使用時のみ起動する機器類については設備状況に合わせて適時運転を行う。

### 3. 生物処理設備

2系列並行運転とする。

各機器の運転は水質及び水量の変動に伴う運転効率への影響等を勘案し、必要に応じて各機器の休止または運転を適時判断し、最良な運転を行う。

予備機のある機器類については運転計画に基づき一定期間ごとに交互切り替えを行う。

使用時のみ起動する機器類については設備状況に合わせて適時運転を行う。

### 4. 後凝集沈殿設備

各機器の運転は水質及び水量の変動に伴う運転効率への影響等を勘案し、必要に応じて各機器の休止または運転を適時判断し、最良な運転を行う。

予備機のある機器類については運転計画に基づき一定期間ごとに交互切り替えを行う。

使用時のみ起動する機器類については設備状況に合わせて適時運転を行う。

## 5. 高度処理設備

各機器の運転は水質及び水量の変動に伴う運転効率への影響等を勘案し、必要に応じて各機器の休止または運転を適時判断し、最良な運転を行う。

予備機のある機器類については運転計画に基づき一定期間ごとに交互切り替えを行う。

使用時のみ起動する機器類については設備状況に合わせて適時運転を行う。

活性炭吸着塔、キレート樹脂吸着塔等吸着性能に限界のある充填材を使用する機器については吸着性能を確認し、必要に応じて交換作業を行わなければならない。

## 6. 消毒放流設備

各機器の運転は水質及び水量の変動に伴う運転効率への影響等を勘案し、必要に応じて各機器の休止または運転を適時判断し、最良な運転を行う。

予備機のある機器類については運転計画に基づき一定期間ごとに交互切り替えを行う。

使用時のみ起動する機器類については設備状況に合わせて適時運転を行う。

処理水質に異常が認められた場合は、放流を中止し施設内循環運転を行う。

## 7. 汚泥処理設備

一部の機器類を除き機器の起動は手動となる。

脱水機の運転については汚泥性状、助剤の薬注量、分離液の性質等に常時注意し、効率運転を行う。

## 8. 薬注設備

各機器の運転は水質及び水量の変動に伴う運転効率への影響等を勘案し、必要に応じて各機器の休止または運転を適時判断し、最良な運転を行う。

予備機のある機器類については運転計画に基づき一定期間ごとに交互切り替えを行う。

各薬品については残量管理および納入時の確認作業が必要となる。

## 9. 給排水設備

各機器の運転は水質及び水量の変動に伴う運転効率への影響等を勘案し、必要に応じて各機器の休止または運転を適時判断し、最良な運転を行う。

予備機のある機器類については運転計画に基づき一定期間ごとに交互切り替えを行う。

使用時のみ起動する機器類については設備状況に合わせて適時運転を行う。

## 10. 脱臭設備

各機器の運転は水質及び水量の変動に伴う運転効率への影響等を勘案し、必要に応じて各機器の休止または運転を適時判断し、最良な運転を行う。

予備機のある機器類については運転計画に基づき一定期間ごとに交互切り替えを行う。

使用時のみ起動する機器類については設備状況に合わせて適時運転を行う。

活性炭の劣化に注意し、必要に応じて交換作業を行わなければならない。

## 11. 埋立地遮水工漏水検知設備（電氣的漏水検知システム）

監視室操作 PC によりシステムに通電を行い、漏水の有無を検知する。業務日 1 日につき 2 回程度の作動とする。（作動後から結果判明までの間のシステム監視は不要とする。また、結果判明までに約 5 時間を要する。）

点検の結果、漏水の疑いが検知された場合には速やかに甲に報告するものとする。



## 保守点検要領

施設内各設備の保守点検要領は以下のとおりとし、詳細については別途規定する施設管理規定、「下水道施設維持管理積算要領－終末処理場・ポンプ場施設編－2020年版（（社）日本下水道協会）」に掲載された機械・電気設備保守点検基準、運転要領書、取扱説明書、完成図書等による。

## 【機械設備】

機 器 名	点 検 項 目	頻 度
1. ポンプ・プロワ類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異常音、振動のチェック</li> <li>・軸受、電動機等の温度チェック</li> <li>・グリース、潤滑油のチェック</li> <li>・Vベルトのチェック</li> <li>・グランドパッキンの調整とチェック</li> <li>・電流値の測定</li> </ul>	1回／日 〃 1回／月 〃 〃 〃
2. 攪拌機類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異常音、振動のチェック</li> <li>・軸受、電動機等の温度チェック</li> <li>・グリース、潤滑油のチェック</li> <li>・Vベルトのチェック</li> <li>・グランドパッキンの調整とチェック</li> <li>・電流値の測定</li> </ul>	1回／日 〃 1回／月 〃 〃 〃
3. オゾン装置 脱水機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異常音、振動のチェック</li> <li>・軸受、電動機等の温度チェック</li> <li>・グリース、潤滑油のチェック</li> <li>・Vベルトのチェック</li> <li>・グランドパッキンの調整とチェック</li> <li>・電流値の測定</li> <li>・他各装置独自の事項</li> </ul>	1回／日 〃 1回／月 〃 〃 〃 随時
4. 塔槽類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水洩れチェック</li> <li>・腐食のチェック</li> <li>・接続部の増締</li> </ul>	1回／月 〃 〃
5. 配 管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水洩れチェック</li> <li>・振動のチェック</li> <li>・接続部の増締</li> <li>・腐食のチェック</li> </ul>	1回／月 〃 〃 定期的にドレン抜を行う
6. 電気盤 制御盤 計装盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランプ点検確認</li> <li>・電磁開閉器のチェック</li> <li>・リレーの動作チェック</li> <li>・異常警報確認</li> <li>・絶縁抵抗確認</li> <li>・電圧、電流のチェック</li> <li>・漏電警報のチェック</li> <li>・配線接続部のチェック、増締</li> <li>・盤内の清掃</li> </ul>	1回／月 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 1回／月
7. 計測機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護および電極の清掃</li> <li>・標準液のチェック</li> <li>・記録計のオイル、インクのチェック</li> <li>・記録紙のチェック</li> <li>・零点調整 (PH計、DO計のみ)</li> <li>・操作電源のチェック</li> </ul>	1回／月 〃 〃 〃 〃 〃

【電気設備】

設備名	機器名	日常点検	1週間	1ヶ月	その他	
受変電設備	受電電圧の確認	毎日		電気主任技術者の点検の補助	1年に1回の受電設備点検補助	
	受電電流の確認	毎日		電気主任技術者の点検の補助	1年に1回の受電設備点検補助	
	力率及び周波数の確認	毎日		電気主任技術者の点検の補助	1年に1回の受電設備点検補助	
	使用電力の確認	毎日		電気主任技術者の点検の補助	1年に1回の受電設備点検補助	
	各トランスの温度の確認	毎日		電気主任技術者の点検の補助	1年に1回の受電設備点検補助	
	高圧受電室の温度及び湿度の確認	毎日		電気主任技術者の点検の補助	1年に1回の受電設備点検補助	
	UPSの点検		外観の確認及び表示の確認			
	運転状況の確認	毎日			故障個所の機器の点検	
	プリンターの確認		用紙の確認及び補充			
	日報の確認	毎日			月報の確認	
計装設備	月報の確認					
	PH計、DO計、COD計、濁度計等	外観の確認、指示値の確認	校正及び電極の清掃	内部液の補充・・・3ヶ月		
	電磁流量計、レベル計、フリクト計等	外観の確認、指示値の確認		内部の点検		
	気象観測装置	外観の確認、指示値の確認		内部の点検		
動力設備	動力制御盤	外観の確認、指示値の確認		計器及び表示の確認		
	現場操作盤	外観の確認、指示値の確認		計器及び表示の確認		
	作業用の電源盤	外観の確認				
備考	電気事業法に基づく保安規定に係る点検業務のうち、電気主任技術者が行うものについては、別途発注の保安管理業務で実施するので、点検時の立会い、補助を行うこと。 ただし上記保安規定に係る点検業務のうち、日常の点検業務は実施すること。					

## 運転方法、処理フローおよび各設備の機器仕様

## 1. 流入調整設備

NO.	機 械 名 称	運 転 方 法
1	緊急しゃ断弁	原水ピット水位 HH 以上にて全閉、H 以下にて全開による自動運転。
2	No. 1 集水ポンプ A・B	原水ピット水位 L 以上～LL まで及び No. 3 調整槽水位 H 未満で自動運転。自動交互運転有。原水ピット水位 HH 以上にて満水警報。
3	No. 2 集水ポンプ A・B	原水ピット水位 M 以上～LL まで 及び No. 3 調整槽水位 H 未満で自動運転。自動交互運転有。 原水ピット水位 H 以上にて 2 台同時自動運転。
4	No. 1 調整槽攪拌装置 A・B	No. 1 調整槽水位 M 以上～L 以下にて 2 台同時自動運転。
5	原水ポンプ A・B	No. 1 調整槽水位 L 以上～LL まで及び分配槽水位 H 未満で自動運転。自動交互運転有。
6	No. 2 調整槽返送ポンプ	No. 2 調整槽水位 L 以上～LL まで及び No. 1 調整槽水位 H 未満で自動運転。
7	No. 3 調整槽返送ポンプ	No. 3 調整槽水位 L 以上～LL まで及び No. 1 調整槽水位 H 未満で自動運転。No. 3 調整槽水位 HH 以上にて満水警報。

## 2. 前凝集沈殿設備

NO.	機 械 名 称	運 転 方 法
1	No. 1 混和槽攪拌機	手動(入・切)による運転。通常運転は入。
2	No. 1 凝集槽攪拌機	手動(入・切)による運転。通常運転は入。
3	前処理沈殿槽汚泥搔寄機	手動(入・切)による運転。通常運転は入。
4	前処理汚泥引抜ポンプ A・B	タイマー制御による運転・停止の自動交互運転。
5	No. 1 中和槽攪拌機	手動(入・切)による運転。通常運転は入。
6	No. 1 移送ポンプ A・B・S	分配槽水位 L 以上～LL まで及び混合槽水位 H 未満で A・B 共自動運転。分配槽水位 HH 以上にて満水警報。S は A・B の共通予備。
7	加温ボイラ	分配槽水温計による自動運転。
8	灯油ポンプ A・B	ボイラ運転プログラムによる自動運転。

### 3. 生物処理設備

NO.	機 械 名 称	運 転 方 法
1	曝気ブロワ A・B・S	手動(入・切)による運転。通常運転は入。SはA・Bの共通予備。
2	脱窒槽攪拌ポンプ A・B・S	手動(入・切)による運転。通常運転は入。SはA・Bの共通予備。
3	No. 2 移送ポンプ	混合槽水位 L 以上～LL まで及びろ過原水槽水位 H 未満で自動運転。自動交互運転有。混合槽水位 HH 以上にて満水警報。

### 4. 後凝集沈殿設備

NO.	機 械 名 称	運 転 方 法
1	No. 2 混和槽攪拌機	手動(入・切)による運転。通常運転は入。
2	No. 2 凝集槽攪拌機	手動(入・切)による運転。通常運転は入。
3	凝集沈殿槽汚泥掻寄機	手動(入・切)による運転。通常運転は入。
4	凝集汚泥引抜ポンプ A・B	タイマー制御による運転・停止の自動交互運転。
5	No. 2 中和槽攪拌機	手動(入・切)による運転。通常運転は入。

### 5. 高度処理設備

NO.	機 械 名 称	運 転 方 法
1	ろ過原水ポンプ A・B	ろ過原水槽水位 L 以上～LL まで及び微量有害物質分解原水槽水位 H 未満で自動運転。自動交互運転有。ろ過原水槽水位 HH 以上にて満水警報。ろ過器運転プログラムによる自動運転。
2	ろ過器	ろ過器運転プログラムによる自動操作弁の開閉。
3	ろ過器逆洗ポンプ A・B	微量有害物質分解原水槽水位 L 以上～LL まで自動運転。自動交互運転有。ろ過器運転プログラムによる自動運転。
4	空洗ブロワ A・B	ろ過器・活性炭吸着塔・キレート吸着塔運転プログラムによる自動運転。
5	計装用コンプレッサ A・B	圧力スイッチによる自動運転。通常運転は入。
6	微量有害物質分解原水ポンプ A・B	微量有害物質分解原水槽水位 M 以上～L まで及び活性炭吸着原水槽水位 H 未満で自動運転。自動交互運転有。微量有害物質分解原水槽水位 HH 以上にて満水警報。微量有害物質分解装置運転プログラムによる自動運転。
7	微量有害物質分解装置	微量有害物質分解装置運転プログラムによる自動運転。

8	活性炭吸着原水ポンプ A・B	活性炭吸着原水槽水位 L 以上～LL まで及びキレート吸着原水槽水位 H 未満で自動運転。自動交互運転有。活性炭吸着原水槽水位 HH 以上にて満水警報。活性炭吸着塔運転プログラムによる自動運転。
9	活性炭吸着塔 A・B	活性炭吸着塔運転プログラムによる自動操作弁の開閉。
10	活性炭吸着塔逆洗ポンプ A・B	キレート吸着原水槽水位 L 以上～LL まで自動運転。自動交互運転有。活性炭吸着塔運転プログラムによる自動運転。
11	キレート吸着原水ポンプ A・B	キレート吸着原水槽水位 M 以上～M 未満まで自動運転。自動交互運転有。キレート吸着原水槽水位 HH 以上にて満水警報。キレート吸着塔運転プログラムによる自動運転。
12	キレート吸着塔 A・B	キレート吸着塔運転プログラムによる自動操作弁の開閉。
13	キレート吸着塔逆洗ポンプ A・B	処理水槽水位 L 以上～LL まで自動運転。自動交互運転有。キレート吸着塔運転プログラムによる自動運転。

#### 6. 消毒放流設備

NO.	機 械 名 称	運 転 方 法
1	pH調整槽攪拌機	手動(入・切)による運転。通常運転は入。
2	放流ポンプ A・B	放流ピット水位 L 以上～LL まで自動運転。自動交互運転有。放流ピット HH 以上にて満水警報。
3	非常用自動弁 A・B	PH計とUV計の異常値による自動開閉。

#### 7. 汚泥処理設備

NO.	機 械 名 称	運 転 方 法
1	汚泥濃縮槽汚泥掻寄機	手動(入・切)による運転。通常運転は入。
2	濃縮汚泥移送ポンプ A・B	タイマー制御による運転・停止の自動交互運転。
3	攪拌プロワ	手動(入・切)による運転。通常運転は入。
4	汚泥供給ポンプ A・B	汚泥貯槽水位 L 以上～LL まで自動運転。自動交互運転有。汚泥貯槽水位 HH 以上にて満水警報。脱水機運転プログラムによる自動運転。
5	脱水機	運転条件成立により運転可。脱水機運転プログラムによる自動運転。
6	ケーキホッパ	手動(開・閉)による運転。通常運転は閉。HH 以上にて上限警報。

8. 薬品注入設備

NO.	機 械 名 称	運 転 方 法
1	凝集剤注入ポンプ (No. 1 混和槽用)A・B	原水ポンプと連動運転(遅延タイマー付)。凝集剤貯槽水位 LL 以下でなければ自動運転可、自動交互運転有。凝集剤貯槽水位 HH 以上にて満水警報。
2	凝集剤注入ポンプ (No. 2 混和槽用)A・B	No. 2 移送ポンプと連動運転(遅延タイマー付)。凝集剤貯槽水位 LL 以下でなければ自動運転可、自動交互運転有。凝集剤貯槽水位 HH 以上にて満水警報。
3	リン酸貯槽攪拌機	手動(入・切)により運転、タイマーにより停止。リン酸貯槽水位 H 以上で自動運転可、H 以下で停止。
4	リン酸貯槽給水弁	手動(開・閉)により運転 (開で開、閉で閉)。リン酸貯槽水位 H 以上で閉
5	リン酸注入ポンプ A・B・S	No. 1 移送ポンプと連動運転(遅延タイマー付)。リン酸貯槽水位 LL 以下でなければ自動運転可、自動(予備機手動選択)運転。リン酸貯槽水位 HH 以上にて満水警報。 S は A・B の共通予備。
6	メタノール注入ポンプ A・B・S	No. 1 移送ポンプと連動運転(遅延タイマー付)。メタノール貯槽水位 LL 以下でなければ自動運転可、自動(予備機手動選択)運転。メタノール貯槽水位 HH 以上にて満水警報。 S は A・B の共通予備。
7	苛性ソーダ注入ポンプ (No. 1 混和槽用)A・B	苛性ソーダ貯槽水位 LL 以下でなければ自動運転可、自動交互運転有。苛性ソーダ貯槽水位 HH 以上にて満水警報。No. 1 混和槽 p H 計と連動運転。
8	苛性ソーダ注入ポンプ(硝酸化槽用)A・B・S	苛性ソーダ貯槽水位 LL 以下でなければ自動運転可。苛性ソーダ貯槽水位 HH 以上にて満水警報。硝酸化槽 p H 計と連動運転。S は A・B の共通予備。
9	苛性ソーダ注入ポンプ (No. 2 混和槽用)A・B	苛性ソーダ貯槽水位 LL 以下でなければ自動運転可、自動交互運転有。苛性ソーダ貯槽水位 HH 以上にて満水警報。No. 2 混和槽 p H 計と連動運転。
10	苛性ソーダ注入ポンプ (No. 2 中和槽用)A・B	苛性ソーダ貯槽水位 LL 以下でなければ自動運転可、自動交互運転有。苛性ソーダ貯槽水位 HH 以上にて満水警報。No. 2 中和槽 p H 計と連動運転。
11	苛性ソーダ注入ポンプ(p H 調整槽用)A・B	苛性ソーダ貯槽水位 LL 以下でなければ自動運転可、自動交互運転有。苛性ソーダ貯槽水位 HH 以上にて満水警報。p H 調整槽 p H 計と連動運転。

12	硫酸注入ポンプ (No. 1 中和槽用)A・B	硫酸貯槽水位 LL 以下でなければ自動運転可、自動交互運転有。硫酸貯槽水位 HH 以上にて満水警報。No. 1 中和槽 pH 計と連動運転。
13	硫酸注入ポンプ (No. 2 混和槽用)A・B	硫酸貯槽水位 LL 以下でなければ自動運転可、自動交互運転有。硫酸貯槽水位 HH 以上にて満水警報。No. 2 混和槽 pH 計と連動運転。
14	硫酸注入ポンプ (pH調整槽用)A・B	硫酸貯槽水位 LL 以下でなければ自動運転可、自動交互運転有。硫酸貯槽水位 HH 以上にて満水警報。pH調整槽 pH 計と連動運転。
15	凝集助剤溶解装置	電源送り。 警報：満水、機器故障。
16	凝集助剤注入ポンプ (No. 1 凝集槽用)A・B	原水ポンプと連動運転(遅延タイマー付)。凝集助剤溶解槽水位 LL 以下でなければ自動運転可、自動交互運転有。
17	凝集助剤注入ポンプ (No. 2 凝集槽用)A・B	No. 2 移送ポンプと連動運転(遅延タイマー付)。凝集助剤溶解槽水位 LL 以下でなければ自動運転可、自動交互運転有。
18	脱水助剤溶解装置	電源送り。 警報：満水、機器故障。
19	脱水助剤注入ポンプ A・B	脱水助剤溶解槽水位 LL 以下でなければ自動運転可、自動交互運転有。脱水機運転プログラムによる自動運転。

9, 10. 給排水設備・その他設備

NO.	機 械 名 称	運 転 方 法
1	給水ユニット	手動(入・切)による運転。通常運転は入。
2	床排水ポンプ A	ポンプ付属水位計にて自動運転。
3	床排水ポンプ B	ポンプ付属水位計にて自動運転。
4	脱臭ファン	手動(入・切)による運転。通常運転は入。
5	ブロワ室ダクトファン	手動(入・切)による運転。通常運転は入。温度センサーによる運転・停止
6	倉庫チェーンブロック	手動(入・切)による運転。
7	将来用高度処理スペースチェーンブロック	手動(入・切)による運転。
8	脱水機室チェーンブロック	手動(入・切)による運転。

11. 埋立地遮水工漏水検知設備 (電氣的漏水検知システム)

監視室内の PC により点検通電 (手動又は自動)、約 5 時間経過後に点検が完了し結果が PC に表示される。

## 機器類の予備品リスト（浸出水処理設備）

製品名称	数量		型式	予備品名	製品1台当 予備品数量	メーカー名
	計	内予備				
曝気プロ	3台	1台	ルーツプロ	Vベルト	2(計4) 個	新明和工業(株)
空洗プロ	2台	1台	ルーツプロ	Vベルト	2(計4) 個	新明和工業(株)
攪拌プロ	2台	1台	ルーツプロ	Vベルト	2(計4) 個	新明和工業(株)
微量有害物質除去装置用 オゾン発生装置	1台	0台	水冷板型電極無声 放電式	電磁弁コイル無し (VX2110A-02-ACX645)	1個	住友精密工業(株)
フィルタエレメント (AF40P-060S)				1個		
エキゾーストクリーナエレメント (AMC-EL6)				1個		
フィルタエレメント (AME-EL150)				1個		
補修塗料(50g)				1個		
ガラス管ヒューズ				4本		
電磁弁部品キット (ADK11-20X2179用)				4個		
微量有害物質除去装置用 コンプレッサ	1台	0台	オイルフリーベヒコン	フィルタ詰物	6個	(株)日立産機システム
接続棒組				3個		
クランク軸玉軸受				2個		
リングセット				3個		
空気弁セット				3個		
アンローダビストン組				3個		
吸込ろ過器詰物				15個		
Vベルト				2個		
空気弁パッキン				3個		
シリンダーパッキン				3個		
空冷チラー	1台	0台	空冷式	ガラス管ヒューズ	3個	富士端子
微量有害物質除去装置用 冷却水循環ポンプ	1台	0台	陸上型	メカニカルシール	2個	ゲルトフォスポンプ(株)
Oリング φ137.5				2個		
Oリング φ22				1個		
Oリング φ16.3				3個		
微量有害物質除去装置用 処理水循環ポンプ	1台	0台	陸上型	メカニカルシール	2個	ゲルトフォスポンプ(株)
Oリング				2個		
ラバースフリング				4個		
微量有害物質除去装置用 UV反応装置	1台	0台	低圧水銀ランプ式	UVランプ	40個	住友精密工業(株)
Oリング				168個		
Oリング ISO E5300G				4個		
UV電源盤			ヒューズ	2個		
			補助リレー	1個		
			ターミナルリレー	1個		
			グラウンドナット締具	1個		
トルクレンチ	1個					



機器類の予備品リスト（浸出水処理設備）

製品名称	数量		型式	予備品名	製品1台当 予備品数量	メーカー名
	計	内予備				
微量有害物質除去装置用 過酸化水素ポンプ	1台	0台	電磁定量式	バルブセット	1組	(株)イネキ
				ダイヤフラム	1個	
				Oリング ポンプ用 (0325100219)	2個	
				Oリング ポンプ用 (0325100122)	1個	
				Oリング ポンプ用 (0325100373)	1個	
				スプリング	1個	
				ポペット	1個	
				Oリング チャッキ弁用 (0325100122)	1個	
				Oリング チャッキ弁用 (0325100127)	1個	
微量有害物質除去装置用 UV洗浄薬液ポンプ	1台	0台	マグネットポンプ	ポンプ本体セット	1式	(株)イネキ
微量有害物質除去装置用 UV洗浄薬液装置	1台	0台	洗浄装置	自給タンク用 吸込アダプター	1個	(株)イネキ
微量有害物質除去装置用 環境オゾン濃度測定装置	1台	0台	定電位電解式	フィルタエレメント	12組	新コスモス電機(株)
				ガラス管ヒューズ	1本	
微量有害物質除去装置用 排オゾン分解塔	1台	0台	触媒・活性炭併用型	活性炭(5kg)	1式	住友精密工業(株)
				オゾン分解触媒(6kg)	1式	
微量有害物質除去装置用 分電制御盤	1面	0面	分電制御盤	ガラス管ヒューズ	4個	富士端子
				蛍光灯球	1個	松下電工
				グローブ球	1個	松下電工
				補助リレー MY4N	2個	オムロン
				補助リレー MY2N	1個	オムロン
				パワーリレー	1個	オムロン
				LEDユニット	1個	和泉電気
				補修塗料(50g)	1個	住友精密工業(株)
				LEDユニット引抜工具	1個	和泉電気
微量有害物質除去装置用 流量計(処理原水)	1台	0台	流量計(処理原水)	Oリング P40	1個	日本フローセル
				Oリング P35	1個	
				Oリング P34	1個	
				Oリング P18	1個	
				Oリング P12	2個	
				Oリング P10A	1個	
				Oリング P7	2個	
				テーパー管	1個	
				洗浄用ブラシ	1個	

機器類の予備品リスト（浸出水処理設備）

製品名称	数 量		型 式	予備品名	製品 1 台当 予備品数量	メーカー名
	計	内予備				
微量有害物質除去装置用 流量計(循環水)	1 台	0 台	流量計(循環水)	パッキン OD16	4 個	東京計装
				パッキン OD13	4 個	
				Oリング OD44.7	4 個	
				Oリング OD11.6	3 個	
				Oリング OD17.2	2 個	
				Oリング OD16.6	2 個	
				Oリング OD26.6	2 個	
				Oリング OD12.6	6 個	
脱水機	1 台	0 台	遠心脱水機	ケーシングパッキン	1 個	(株) IHI
				Oリング A	1 個	
				オイルシールA	1 組	
				オイルシールB	1 個	
				オイルシールC	1 個	
				パッキン(オリフィス)	1 個	
				ボールベアリング A	1 個	
				ボールベアリング B	1 個	
				Oリング B	2 個	
				オイルシールD	1 個	
				Oリング C	1 個	
				Oリング D	1 個	
				Oリング E	2 個	
				Oリング F	1 個	
				フランジ用パッキン取付ボルト	1 式	
				六角穴付きボルト6mm	3 個	
六角穴付きボルト8mm	2 個					

計装機器類の予備品リスト（浸出水処理設備）

製品名称	数量		型 式	予備品名	予備品数量	メーカー名
	計	内予備				
No. 1 混和槽 pH計	7 台	0 台	浸漬式 pH計 (超音波洗浄装置付)	標準液用粉末A(5個/袋)	42 袋	東亜デ <sup>ィ</sup> ケーケー(株)
No. 1 中和槽 pH計				標準液用粉末B(5個/袋)	32 袋	
No. 1 硝酸化槽 pH計				電極内部液(112g)	45 袋	
No. 2 硝酸化槽 pH計				電極	4 本	
No. 2 混和槽 pH計						
No. 2 中和槽 pH計						
pH調整槽 pH計						
放流ピ <sup>ット</sup> pH計	1 台	0 台	投込み式 pH計 (超音波洗浄装置付)	電極	1 本	
No. 1 脱窒槽ORP計	2 台	0 台	浸漬式ORP計 (超音波洗浄装置付)	標準液用粉末A(5個/袋)	10 袋	東亜デ <sup>ィ</sup> ケーケー(株)
No. 2 脱窒槽ORP計				標準液用粉末B(5個/袋)	10 袋	
				電極	1 本	
No. 1 BOD酸化槽DO計	4 台	0 台	浸漬式DO計 (水ジ <sup>ェット</sup> 洗浄装置付)	電極内部液(50mL)	16 個	東亜デ <sup>ィ</sup> ケーケー(株)
No. 2 BOD酸化槽DO計				亜硫酸ナトリウム(無水)	12 個	
No. 1 硝酸化槽DO計				隔膜	18 枚	
No. 2 硝酸化槽DO計				電極	1 本	
UV計	1 台	0 台	吸光式UV計	フタル酸水素カリウム	2 個	東亜デ <sup>ィ</sup> ケーケー(株)
				シリカ <sup>ゲル</sup> 袋入	4 個	
負荷量演算器	1 台	0 台		プリンタロール紙	12 個	東亜デ <sup>ィ</sup> ケーケー(株)

盤類予備品リスト（浸出水処理設備）

製品名称	数量		型式	予備品名		予備品数量	メーカー名	
	計	内予備						
高圧受電盤	4面	0面	引込受電盤	補修色	(5Y7/1)	1個	菱照エンジニアリング(株)	
			高低圧コンテナ盤	計器用変圧器Vトランス	(PL-G)	4本		
				動力主幹盤	操作用変圧器Vトランス	(PL-G)		2本
				照明主幹盤	VTT用テストプラグ	(KTT-VS3)		1組
					CTT用テストプラグ	(KTT-AW3)		1組
					パワーヒューズ (CL-LB)	(G10A)		3本
					パワーヒューズ (CL-LB)	(G50A)		3本
					パワーヒューズ (CL-LB)	(G40A)		2本
				ガラス管ヒューズ	(6.3φ×30L) 1A	8本		
					(6.3φ×30L) 3A	9本		
					(6.3φ×30L) 10A	1本		
				LED球 (AP30F用)	DN7Q001-S1HA	46個		
				グローブ (AP30F用)	DN7C001-SC	5個		
					APCX016-S0	5個		
				LED球 (DR30用)	APX510-6R	3個		
					APX510-6G	3個		
				グローブ (DR30用)	DR9C001-R	1個		
					DR9C001-G	1個		
				テイスコン棒		1本		
				絶縁手袋	YS-101-21-1	1本		
検電器	HSF-7	1個						
動力盤	1式	0式	動力制御盤1	電磁開閉器 (MSO-N11)	AC100V 0.55-0.85A	1台	菱照エンジニアリング(株)	
			動力制御盤2	電磁開閉器 (MSO-N11)	AC100V 1-1.6A	1台		
			動力制御盤3	電磁開閉器 (MSO-N11)	AC100V 1.7-2.5A	1台		
			動力制御盤4	電磁開閉器 (MSO-N11)	AC100V 2-3A	1台		
				電磁開閉器 (MSO-N11)	AC100V 2.8-4.4A	1台		
				電磁開閉器 (MSO-N11)	AC100V 5.2-8A	1台		
				電磁開閉器 (MSO-N11)	AC100V 7-11A	1台		
				電磁開閉器 (MSO-2 <sub>N</sub> N11)	AC100V 2-3A	1台		
				電磁開閉器 (MSO-2 <sub>N</sub> N11)	AC100V 2.8-4.4A	1台		
				電磁開閉器 (MSO-N21)	AC100V 12-18A	1台		
				電磁開閉器 (MSO-N35)	AC100V 24-34A	1台		
				電磁開閉器 (MSO-N50)	AC100V 30-40A	1台		
				電磁開閉器 (MSO-N50)	AC100V 34-50A	1台		
				電磁接触器 (S-N25)	AC100V	1台		
				電磁接触器 (S-N50)	AC100V	1台		





## 工具類、計測機器類リスト

名 称	形 状 寸 法	個数
片手ハンマー	1/2 bs、1 bs	各 1
両口スパナ	17×21、21×26、26×32	各 1
油差し	ポリエチレン製大、中、小	各 1
グリースガン	300cc	1
モンキースパナ	150mm、250mm	各 2
パイプレンチ	450mm、600mm	各 1
ペンチ	150mm	2
ドライバー	貫通形大、小（－）	各 1
プライヤー	コンビネーション 3 本組	1
ソケットレンチセット （ボックスレンチ）	13 駒組	1
メガネレンチ	8×10、11×13、12×14 14×17、19×22、24×27	1
工具箱	W246×L493×H238 W375×L821×H152	各 1
温度計	ペッテンコーヘル -10℃～50℃	1
電工ドラム	単相 100V、三相 200V、各 50m	各 1
ポリバケツ	10L、フタ付	2
台車	約 W600×L1,900	各 1
一輪車	約 W680×L770×H155	1
ホース	13A 長さ 30m 清掃用	1
デッキブラシ	ナイロン製	2
温度計	アルコール温度計 50℃	1
ビーカ	500mL	1
メスシリンダー	100mL、1,000mL（ガラス製）	各 2
メスシリンダー	100mL、1,000mL（透明プラスチック製）	各 2
pH残留塩素測定器	ブロック差し込み式	1
透視度計	50、100cm 枠付き	各 1
pH、ORP計	兼用、携帯用	1
電気伝導度計	携帯用	1
ガス探知機	直読式ガス探知機 （硫化水素、一酸化炭素）	1 式
三又	可搬式三脚型 0.5 t 用	1
チェーンブロック	0.5 t	1
排泥ポンプ	汚水汚物ポンプ（LS内蔵型） 50A×0.1m <sup>3</sup> /分×10m×0.75KW 三相 200V プレートホース（L=15m） サニホース（φ50、L=50m）	各 1
薬品投入ポンプ	ハンディタイプ 100V （メタノール、リン酸、硫酸その他）	4
薬品置き場用スノコ	約 W400×L900	2
水槽点検用ファン	φ198 単相 100V フレキシブルダクト 5m（20cm用）	2

施設運転用薬品類一覧表

薬品名等	規格等
リン酸	
メタノール	
凝集剤	第二塩化鉄 (FeCl <sub>3</sub> )
凝集助剤	アニオン系高分子凝集剤
脱水助剤	カチオン系高分子凝集剤
苛性ソーダ	NaOH
硫酸	
消毒剤	固形塩素剤
過酸化水素	
クエン酸	
ろ過材	砂
活性炭	水処理用
キレート材	一般重金属用
キレート材	水銀用
活性炭	脱臭用
排オゾン分解塔充填材	活性炭・オゾン分解触媒
その他	